消費者志向経営自主宣言
2022年度活動報告

2023年9月

ハウス食品株式会社

1．経営トップのコミットメント

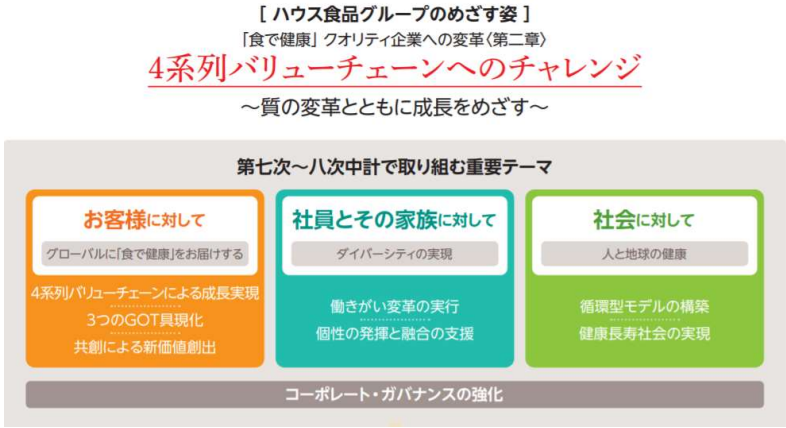
【「ハウスウェイ」の共有促進】
グループ理念の実現とグループ・個人の成長を目指して

「ハウスウェイ」は、グループ理念の実現と、ひとりひとりの成長のために、私たちが「ハウスのひと」として、どう判断し、どう行動すべきかの道標として2016年に制定されました。

ハウス食品グループの各社・各人がシナジーを発揮し成長し続けるために「ハウスウェイとの重なり（共通する価値観）に気づくとともに、個性を理解し、認め合える」状態を目指すべく、ワークショップなどを展開しています。

【「３つの責任」による価値創造】
中期経営計画において、「お客様への責任」、「社員とその家族への責任」、「社会への責任」を、具体的テーマを設定して進めています

ハウス食品グループのグループ理念「食を通じて人とつながり、笑顔ある暮らしを共につくるグッドパートナーをめざします。」は、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念に調和します。
また、当社グループは「３つの責任」を全ての事業活動の根幹としていますが、この「３つの責任」に対して真摯に取り組むことが、SDGsがめざす「持続可能な社会の構築」に貢献することにつながると考えています。



2．コーポレートガバナンスの確保

【経営・関係部署へのお客様情報共有】

“お客様の声”分析による気づきを、スピーディーに共有。取り組み改善、業務変革に活かしています

ハウス食品では、経営会議の冒頭の時間は、お客様の声の報告と、そこからの気づきの共有で始まります。

“お客様の声”には、企業活動の活性化、製品・サービスの向上、マーケティング施策の改善に結びつく、といった様々なヒントが埋まっています。

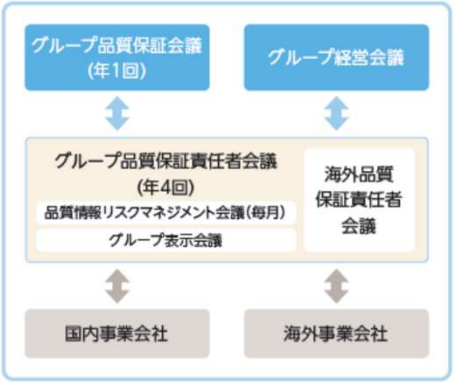
お客様の声から生まれたヒントは、経営内で確認後、直ちに関係部門への指示事項となり、改善・改革への動きが取られています。

【グループ品質保証体制】

ハウス食品グループでは、グループ本社役員や事業会社社長、社外有識者で構成する「グループ品質保証会議」で、品質保証に関する重要課題について討議を行い、継続的な品質保証活動を進めています。

グループ本社の品質保証統括部と事業会社の品質保証部門長による「品質保証責任者会議」では、「品質情報リスクマネジメント会議」や「グループ表示会議」など専門会議を通じて、法改正情報の収集を行い、事業会社と連携し、法規制の遵守に向けた対応やグループ共通の課題や事業会社の課題について、俯瞰的な視点と各社の「現場の実情」の両面から討議し、品質保証力の向上に取り組んでいます。

これらの取り組みと連動して、各事業者でISO9001や食品安全規格であるFSSC22000※および同等の認証取得に取り組んでいます。



※FSSC22000：食品安全に関する品質マネジメントシステム

３．社員の積極的活動：企業風土や社員の意識の醸成

【品質重視の組織風土の醸成】

現場の力に光を当てる
「プロフェッショナル表彰制度～現場の凄さ～」を実施。
内容を、グループ全体に発信しています。

生産の現場では、日々、「ヒト・設備・原料・方法」などの様々な変化があるなか、多くの創意・工夫によって安全・安心な製品の実現につなげています。安全・安心な品質を維持し続けるためには、現場の地道な活動の継続が大切であるとの想いから「プロフェッショナル表彰制度」を2018年に開始しました。

事業所ごとに他薦で選出を行い、受賞者の凄さをグループ報などでグループ内共有を行い、品質を重視する風土醸成に取り組んでいます。

４．事業関連部門と品質保証・お客様対応部門の有機的連携

【部門横断の改善活動:ＱＵＩＣ】

「お客様から学ぶ」実務者組織として、改善テーマを進めています

「ＱＵＩＣ」とはQuality Up by Initiative of Customers（お客様主導で進める品質向上活動）の社内呼称です。

● ＱＵＩＣ三原則
1、お客様に対する**感度**を高めること
2、お客様に**説明できる力**を高めること
3、お客様に学び、**ハウスのものづくりの力**を高めること

部門横断のチームで、製品･販促企画、R&D、調達、生産管理、調査、品質保証、お客様相談のマネージャー、担当者が参加しています。

お客様のお申し出への対応や個別製品の改善に留まらず、ハウス食品のお客様対応・ものづくりのしくみ全体を向上することも含めて、具体的テーマを設け、経営とも共有しながら取り組んでいます。

【2022年は、情報コミュニケーション（お客様に正しい情報をわかりやすく伝える）の改善に注力しました】

a)「シニアの声に学ぶ部会」では、シニア世代からいただいた声を起点に、「見やすい」「伝わりやすい」パッケージの改善（作り方表記など）に取り組んでいます。

b)情報発信の部会「NICOTT（ニコット）」では、お客様から「よくいただくご質問」について、より詳しく説明したり、写真や図を掲載することで理解を深める工夫を継続的に行っています。

お問い合わせURL: https://housefoods.jp/inquiry/index.html

５．お客様とともに学ぶ食育活動の充実

【「はじめてクッキング」教室】

幼稚園･保育所･認定こども園等の
子どもたちが参加しています

自分の手で食材にふれて食べ物の大切さを知り、みんなで料理する楽しさや食べる喜びを感じることができる「はじめてクッキング」教室。ハウス食品グループは、子どもたちの健やかな成長を応援するこの活動を大切な食育の活動として取り組んでいます。

※1996年から始まったこの活動は、2023年で28年目を迎えました。
※2022年までに、のべ約995万人の子どもたちが体験しました。

https://housefoods-group.com/activity/event/h_cooking/index.html

【ハウス「食と農と環境の体験教室」】

家族で学び、体験していただいています

子どもを中心としたご家族に、年３回継続して参加いただいています。お米や野菜作り、カレー調理、自然の中の生き物との触れ合い、などの体験を通じて、食と農と環境のつながりや大切さを知っていただきたいと思っています。

※2009年からはじまり、2022年までに773家族、2,492名の方にご参加いただきました。

https://housefoods-group.com/activity/event/taiken/index.html

６．お客様・社会の要望を踏まえた改善・開発・情報提供

【食品ロス削減の取り組み】

“もっとカレーだからできること”
プロジェクト

日本では年間約522万トンの食品ロスが発生し、その47%が家庭から発生しています。　（※）

当社は、家庭の食品ロス削減の解決策の一つとして、2020年より“もっとカレーだからできること”プロジェクトを始めました。アンケート調査で判明した、食品ロスになりがちな食材を使ったレシピをホームページで紹介。カレーであれば、期限が近づいた食材などもおいしくまとめることができます。食品ロス問題を知るきっかけや、楽しく・おいしく食品ロスを減らすヒントになり、笑顔ある暮らしの実現に役立ちたいという想いで活動しています。

また本プロジェクトに賛同いただいた愛知県豊田市と、市民へのアンケート結果をもとにおすすめレシピを提案する共同企画を実施するなど、行政と企業が連携した食品ロス削減にも取り組んでいます。

※農林水産省・環境省　令和２年度推計値

【もっと手軽に、もっと地球にやさしく】

家庭用レトルトカレー製品をレンジ加熱対応パウチにリニューアル

2022年8月で、家庭用レトルトカレー製品において、一部を除くほぼ全製品でレンジ加熱に対応したパウチへの変更を完了しました。

従来のアルミパウチ製品ではそのままレンジで加熱できませんでしたが、素材を変更しパウチごと加熱できるようになりました。湯せんだと10分ほどかかる調理時間が、レンジであれば２分弱で済むので、時間を短縮でき、調理時のCO_2排出量を約80%削減（※）することが可能になりました。

※GHGプロトコルガイドラインの概念に基づき、当社にて、湯せん、レンジ調理それぞれの調理時間をもとに排出されるCO_2を算出。

＜算出の前提＞
・湯せんでのCO_2排出量
直径24cmの鍋で、2Lの水を入れて調理。お湯を沸かすところからスタートしてパウチの温め時間を含めて約10分で算出。
・レンジ調理でのCO_2排出量
製品によってレンジ加熱時間が異なるため、製品ごとに当社にて設定した500Wレンジでの加熱時間に基づく。

珈琲屋カレー＜中辛＞

消費者志向自主宣言

２０１７年４月２８日
ハウス食品株式会社
代表取締役社長　工東正彦

（１）理念

食を通じて、家庭の幸せに役立つ

（２）取組方針

①お客様の要望に応える製品・サービスの向上活動

お客様のご意見やご要望に対し、さらにスピーディかつ真摯に対応することを目的として、品質向上のための取り組みとして「QUIC（クイック）」を継続展開します。
「QUIC」とはQuality Up by Initiative of Customers（お客様主導で進める品質向上活動）の社内呼称です。

お申し出のお客様に対応したり、個別の製品を改善して終わり…ではなく、ハウス食品のお客様対応・ものづくりのしくみ自体を改善することを目的として継続して取り組んでいます。

取り組んだ内容については、ホームページ内に「ハウスヒント」というページを設けて、開示しております。
ハウスヒントＵＲＬ：https://house-hint.jp/

②食育活動

食の楽しさや大切さをお伝えし、すべての人が生涯健やかに笑顔で暮らせる社会の実現に貢献します。

・「はじめてクッキング」教室の開催

自分の手で食材にふれて食べ物の大切さを知り、みんなで料理する楽しさや食べる喜びを感じることができる「はじめてクッキング」教室。ハウス食品グループは、子どもたちの健やかな成長を応援するこの活動を大切な食育の活動として取り組んでいます。

③社会貢献活動

ハウス食品グループは、社会課題を解決するため、事業活動はもとより、良き企業市民としてステークホルダーと連携し、社会貢献活動を通じて持続可能な地球と社会の発展に貢献します。

・食と農と環境の体験教室の開催

子どもを中心とした家族に年3回、継続して参加いただくこと。その日限りの体験でなく、稲や野菜の生長を体感し、自分達が育てたお米や野菜を、収穫したその場で調理して食べるという体験をすることで食の大切さを学び、田畑や周囲の自然との触れ合いや生き物の観察を通じて自然環境の大切さも理解していただきたいと思っています。

・こども食堂支援

孤食を解消し、共食機会を創出するため、全国のこども食堂に、ハウス食品グループの製品と共に季節のレシピ、社員のメッセージをお届けする「えがお便」をお送りしています。

以　上

食でつなぐ、人と笑顔を。

House